“夢 はばたけ未来へ！”　～校長室から 11.11～

まだまだ･･･！

新聞・テレビ等で「台風１９号の爪痕が…」，そして，被災地でのボランティア活動の様子を報道しています。本校でも，１０月２６日には，野球部中心に丸森地区にボランティア活動をしてくれました。現地でのボランティア活動ができない生徒たちは，生徒会中心に校内とヨークベニマル若柳店での募金活動を行いました。ヨークベニマル若柳店での募金活動では，地域の方々から多くの募金の協力をいただきました。さらには，募金活動をしている生徒に対し，「頑張って」とお菓子の差し入れもいただきました。本当にありがたいことです。この募金については，丸森地区にあり，多くの被害があった，同じ総合学科の“宮城県伊具高等学校”へ，今週生徒会が届けに行く予定となっています。自宅が被災し，避難所生活をしている生徒もいるとのことなので，少しでも心の支えになれたならと思っています。また，丸森でのボランティア活動を聞いた他の生徒たちが「自分たちも参加したい」という声があがり，１１月３日に大郷町へ栗原市の社会福祉協議会の協力を得て２台のマイクロバスと，教頭先生が運転するマイクロバス１台の計３台に，総勢６５名（生徒５５名・教師１０名）で参加しました。急なボランティア活動の呼びかけにもかかわらず，多くの生徒が参加してくれたことに大きな感動を覚えました。この時期は，新人大会等があり，参加したくてもできない生徒もいましたが，そんな中での呼びかけに参加してもらえたことは，本当に迫桜生の心意気を感じました。

当日は天気も良く，ボランティア活動の段取りも，丸森での活動で要領を得ている，野球部顧問の齋藤先生・小針先生の指示の下，野球部の生徒が率先して動き，スムーズな活動ができました。活動の内容は，収穫間近の豆畑に散乱した不要物の撤去と，写真では見えにくいのですが，豆畑奥の稲刈りが終わった田んぼに散乱した不要物の撤去でした。写真では不要物が見えにくいのですが，大きな物から小さな物まで，収穫間近の豆に引っ付いていて，ぬかるみの中で中腰になりながらの撤去は，思いのほか体力が奪われ大変でした。中には，ぬかるみから足が抜けず，ぬかるみに倒れてしまう生徒もいました。また，いろいろな物が散乱しており，臭いや粉じんも多く，マスクと手袋は必需品で，長靴も丈の長いものでないと大変な状態でしたが，生徒たちは本当に頑張っていました。予定よりも早く豆畑の不要物撤去が終わったので，昼食後は奥の田んぼの不要物撤去を行いました。

田んぼの不要物は，豆畑と違い大きな物が散乱しており，さらには土の中に埋まっていたりと，大変な作業でした。不要物も多種多様な物があり，中には泥にまみれた“現金”や“貯金通帳”があり，生徒が私のところに，１万円札や千円札を数枚持ってきました。担当の方に私に行ったところ，他の場所でも多くの現金が見つけられているとのことでした。私たちが活動している場所は，テレビニュースで放映された“中粕川地区”の堤防が決壊した所なので，住民の方々は本当に何も持たずにすぐに避難したことが分かります。家はもちろんコンクリートで作られた水路も無残に流されていました。水の力の凄さを再確認することができました。今の日本では，どこが被災地になってもおかしくない気象現象が続くので気をつけたいものです。

【大郷町の中粕川地区でのボランティア活動の様子：写真では不要物が見えませんが･･･】

“夢 はばたけ未来へ！”　～校長室から 11.13～

ぞくぞく…！

迫桜生の活躍の情報が，ぞくぞく入ってきています。運動部では，新人大会での結果が来ていますが，これから県大会があるという部活動にとっては，いい刺激にしてほしいと思います。また，文化部の活躍も多く届いています。他の文化部のみなさんも，いい刺激をもらって頑張ってください。

まずは，女子卓球部が，県新人大会において，第３位になり，来年１月に福島県郡山市で行われる東北大会への出場を決めました。利府高校との３位決定戦では，２敗からの劣勢からの大逆転ということで，本当に頑張った結果の東北大会出場です。冬場でのいい目標となるので，東北大会でもいい結果を残せるよう，毎日の練習を頑張ってください。

【女子卓球部メンバー】２年：佐藤和奏さん，髙橋志帆さん，佐々木瑞希さん，佐藤葉月さん
１年:岩松愛美莉さん，佐藤結奈さん，大槻さちさん　です。

続いて文化部の活躍です。写真部が，県内４６校が参加した，第２６回宮城県高等学校写真展において，現在，学校賞で１７年連続総合優勝をしている，白石工業高校を破り，見事，本校写真部が優勝しました。白石工業高校の１８連覇を阻止したのです。さらには，来年の夏に四国の高知県で行われる全国総文祭に，３名の作品が出品されることとなりました。出品される作品は銀賞以上の作品で，１２作品が銀賞以上だったのですが，全国へは，一人一作品だけなので，１２作品中６作品も迫桜生の作品でしたが，３人の３作品が全国出品となっています。素晴らしい結果です。全国出品作品を含めた作品を，後日校長室前のFLAに展示したいと考えておりますので，どうぞお楽しみに。

【全国出品作品】金賞：「繋ぐ」２年：阿部マリナさん，「覗（のぞ）く」２年：山崎永愛さん
銀賞：「静寂」２年：山崎愛花さん　です。

さらに書道部の活躍ですが，先日行われた“高校書道展”において，以下のような成績を収めました。特に，３年の曽根麻由さんは，３年連続：推薦(最高賞)を受賞しています。金賞以上の作品が，１２月３日（火）～８日（日）の期間，県美術館の県民ギャラリーに展示されますのでご覧下さい。

『漢字部門』

【推薦：最高賞(３年連続)】３年：曽根麻由さん
【特選】２年：伊藤唯さん，中澤有唯さん，１年：佐野渚さん
【金賞】３年：佐藤怜華さん，２年：伊澤愛海さん，１年：髙橋莉沙さん，鎌田愛加さん
【入選】１年：菅原愛結実さん，髙橋美咲さん

『漢字仮名交じりの書道部門』

【金賞】２年：猪狩楓さん　です。

続いて理工部が“第７２回宮城県高等学校生徒理科研究発表会”において，二つの優秀賞を受賞したので紹介します。

【優秀賞】◇「ニホンアマガエルの亜成体と成体の水平跳躍距離の比較」
⇒田中颯人さん，髙橋蓮さん，三浦海斗さん，小野寺七海さん，
石川渉さん，山本流央さん，佐藤拳斗さん
◇「透明骨格標本を用いたニホンアマガエルとニホンアカガエルの骨格の比較」
⇒髙橋政哉さん，菅原涼さん，阿部聖洸さん，大場響之進さん，
金愛翔さん，髙橋将也さん　です。

最後になりますが，演劇部が北部地区大会において最優秀賞となり，１７日（日）に仙台市の広瀬文化センターで行われる「第５７回宮城県高等学校演劇コンクール中央大会」で「わたしが聴きたかったのは、」という題の演劇を発表し，東北大会・全国大会への出場を目指します。頑張って下さい。

メンバーは，２年：中鉢楓さん，佐藤桃香さん，１年：長尾拓さん，３年鈴木彩夏さん　です。

※こんなにも迫桜高校の仲間が頑張っているのです。お互い刺激し合って，もっともっと頑張れるようにしていきたいものです。“頑張れ！迫桜生！”そして，“夢　はばたけ未来へ！”と･･･。